



正しく恐れて、楽しいキャンプを!



クマがキャンプ場に興味を持たないようにしよう

ヒトの食べ物の美味しさは、クマにとっても大変魅力的です。残飯などを食べてその味を知ってしまったクマは、執拗に食べ物を狙うようになった結果、進んでヒトを襲うこともあります。

そういったクマが増えてしまわないよう、料理の残り物や生ゴミを、周辺にそのまま放置しないようにしましょう。「車の中」や「テント」内に保管する事で、なおいによってクマが引き寄せられる事を防ぎます。キャンプ場によってはゴミ捨て場所が用意されていたり、管理棟に持っていくと有

料で回収してくれる場合もあるので、事前に確認しておくのも必要な準備の1つです。

食べ物を求めてヒトを襲う事を学習してしまったクマは、殺処分しなければなりません。そうしたクマを増やさないため、そして安全に楽しめるキャンプ場を作っていくために、私たち一人ひとりが、責任を持って行動するようにしましょう。

万が一、ゴミや食料をあさられた場合は、すぐにキャンプ場の管理者に知らせてください。



ゴミの放置禁止!



ヒトの存在をクマに知らせよう

クマが人を襲ってしまう理由の大半は「ヒトとばったり出会ってしまい、驚いてとっさに攻撃した」というパターンです。クマはヒトよりも優れた嗅覚や聴覚を持ちます。遠い距離のうちからヒトの気配を感じさせることで、あらかじめ接近を回避できます。

キャンプ場近くの山や森で薪を拾うような際は「複数人数で会話をしながら進む」「クマ避け

の鈴を身に着ける」「ラジオを流しておく」「手を叩いたりヤッホーと大声で叫ぶ」など、人の存在をアピールしましょう。

複数人での行動は特に効果が高く、クマ避け以外にも、不慮の事故でケガなどをした際にも対処がしやすくなります。また、雨や風の強い日など、音の聞こえづらいときは特に大きな音を立てるなど、注意しましょう。



音を出す



複数人で行動する



もしも出会ってしまったら...

夢中で薪を拾っていて、ふと見上げた時にもし目の前にクマがいたら……もしそうなってしまった場合にどう対処すべきか、知識を事前に身に付けておきましょう。遭遇した時点で、おそらくクマもビックリしています。ここで急に逃げ出したり大声を出してしまうと、

- ① まずは止まる
- ② 後ずさりで離れる

パニックになって襲ってくる場合があります。そうならないために、まずは冷静に逃げ出したい気持ちを抑えましょう。慌てて逃げ出すとクマの本能が刺激され追いかけてくる事があります。その場で動きを止め、クマの方を見ながらゆっくり後ずさりして距離をとりましょう。

